

# 自己点検・自己評価

# 看護科

令和元年度自己評価・自己点検結果(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

| 内容             | 評価項目 | 評価尺度3:よく当てはまる 2:大体当てはまる 1:当てはまらない                     | 評教員 | 分析・対策  |
|----------------|------|---|-----|--|
| I<br>教育理念・教育目的 | 1    | 教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している                          | 2.1 | 理念や目的は学則に明記し、育成人材像や卒業時の到達目標は入学案内の時に説明している。また学生には学生便覧に記載し配布している。教育理念をもとに社会の変化に対応し、地域のニーズを満たすため質の高い看護を提供する養成所の責務を担い教育活動を計画、実施している。今後は、カリキュラム改正に向けて将来を見据えた養成所の教育を考えていく方針である。  |
|                | 2    | 教育理念・教育目的は、法との整合性がある                                  |     |  |
|                | 3    | 教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している                 |     |  |
|                | 4    | 教育理念・教育目的は実際に学習の指針になっている                              |     |  |
|                | 5    | 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている |     |  |
|                | 6    | 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるのかを述べている    |     |  |
|                | 7    | 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べている    |     |  |
|                | 8    | 教育理念・教育目的は、看護、看護学校教育、学生観について明示している                    |     |  |
|                | 9    | 看護、看護学校教育、学生観は実際に教師の教育活動の指針となっている                     |     |  |
|                | 10   | 教育理念・教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示している。            |     |  |
|                | 11   | 卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている             |     |  |
| II<br>教育目標     | 1    | 教育目標は、教育理念・教育目標と一貫性がある                                | 2.1 | 教育目標は教育理念・教育目的を達成するために必要な教育内容を、目標として設定した。その教育目標は教育活動のゴールが読み取れるものとして学生の便覧に明示し、入学オリエンテーションで説明している。教育目標の達成に向けて科目・単元、授業の内容に一貫性をもち、能力の育成に実現可能な科目構成になっている。学習者としての成長と看護実践者としての能力の育成を図るために、授業だけでなく、行事や研修、クラスの委員会活動においても、学生の主体性や創造力を発揮できるように支援している。3年生になるとリーダーとしての行動や、倫理的な配慮ができるようになる。年度初めの4月の教務会議で学校評価内容の説明を周知し、今年度の目標を策定し各学年教育目標に即した目標を挙げている。学生は目標管理シートに自己目標を設定し、中間と最終で自己評価を実施し卒業までの単位修得や実践能力の習得を実践できている。卒業生の専門分野における認定資格の取得者が増加し、本校の講師として専門性の高い講義を実施されている。 |
|                | 2    | 教育目標は、設定した教育内容を網羅している                                 |     |  |
|                | 3    | 教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読みとれるものとなっている。               |     |  |
|                | 4    | 教育目標は、目標内容と到達レベルが対応している                               |     |  |
|                | 5    | 教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている                               |     |  |
|                | 6    | 看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している    |     |  |
|                | 7    | 卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している                        |     |  |
| III<br>教育課程経営  | 1    | 教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育の評価との関連性を明確に理解している         | 2.2 | 教員の担当科目や、相当時間数等業務分担にあたっての考えを共有し、今年度の業務分担を決定し実施した。また、余剰時間(学生の研修時間)の効果的な使い方について検討した。既習得単位認定・成績評価の在り方について検討し、今年度から成績評価指標としてGPA(学生の成績の数値化)を導入した。<br>学年毎のGPA平均値<br>1年生3.4 (3.5以上の学生の割合は46%)<br>2年生3.5 (3.5以上の学生の割合は61%)<br>GPAの低い学生の学習支援についてデータをもとに検討していく。実習では、基礎看護学実習の方法を12月と1月にグループを分けて実習期間を変更し実施した。その結果、カリキュラムの進捗の変更が生じたので学生の学びの成果に影響するデメリットがあり、次年度は新たな実習施設を申請した。また、学生の実習評価方法に、ルーブリック・パフォーマンス評価を取り入れ実施した。その結果、学生の目標指針や指導者の評価の公平性について評価が高かった。           |
|                | 2    | 教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている           |     |  |
|                | 3    | 看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している                    |     |  |
|                | 4    | 学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している                     |     |  |
|                | 5    | 学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している                     |     |  |
|                | 6    | 明確な考え方と根拠をもって科目を構成している                                |     |  |
|                | 7    | 明確な考え方と根拠をもって単元を構成している                                |     |  |
|                | 8    | 科目と単元の構成の考え方は教育理念・目的、教育目標と整合性がある                      |     |  |
|                | 9    | 構成した科目は看護師等を養成するのに妥当である                               |     |  |
|                | 10   | 構成した科目は養成所の特徴をあらわしている                                 |     |  |
|                | 11   | 単位履修の方法とその制約について教師・学生の双方がわかるように明示している                 |     |  |
|                | 12   | 単位履修の方法は学生の単位履修を支援するものとなっている                          |     |  |
|                | 13   | 単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしている    |     |  |
|                | 14   | 単位認定の基準は看護師等に必要学修を認めるものとして妥当である                       |     |  |
|                | 15   | 単位認定の方法は看護師等に必要学修を認めるものとして妥当である                       |     |  |
|                | 16   | 他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている                             |     |  |
|                | 17   | 教育課程を評価する体系を整えている                                     |     |  |
|                | 18   | 評価結果の活用における倫理規定を明確にしている                               |     |  |
|                | 19   | 教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している                    |     |  |
|                | 20   | 教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている                             |     |  |
|                | 21   | 教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている               |     |  |
|                | 22   | 教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えている                         |     |  |
|                | 23   | 臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解している                  |     |  |
|                | 24   | 臨地実習施設は学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている                        |     |  |
|                | 25   | 臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしている            |     |  |
|                | 26   | 臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている                 |     |  |
|                | 27   | 臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている                                 |     |  |
|                | 28   | 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している                    |     |  |
|                | 29   | 対象者の権利を尊重するための考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている               |     |  |
|                | 30   | 臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析している                           |     |  |
|                | 31   | 学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている                             |     |  |

| 内容               | 評価項目 | 評価尺度3:よく当てはまる 2:大体当てはまる 1:当てはまらない                   | 評教員 | 分析・対策  |
|------------------|------|---|-----|--|
| IV<br>教授・学習・評価過程 | 1    | 授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている          | 2.3 | <p>授業計画が作成され、教育課程との整合性を図り、学生が授業内容を理解できるようにシラバスを作成している。学外講師とも調整を図り、学習の順序性や演習のタイミングなど、考慮している。授業アンケートは、前年度の評価結果を参考に、各領域担当者で授業案を作成している。また、実施結果や学生の反応を踏まえて見直しをしている。学科試験不合格の学生に対して、面接等で学習方法の支援を実施している。</p> <p>国家試験対策としては、実習中の3年生4月からの学校研修の学習計画から強化している。業者が開催するさわ研究所のガイダンス・国家試験対策授業(母性、小児、社会保障制度)を実施した。市販の模擬試験7回、教務の模擬試験やグループ学習等実施し、国家試験前日のアカデミーの講義を受講した。</p> <p>学習成果の資格・免許の取得率として、看護師国家試験結果<br/>合格率<br/>【本校】97.7% 42名(新卒) 2名(既卒)合格、1名不合格<br/>【全国】89.3%</p>   |
|                  | 2    | 授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている                              |     |  |
|                  | 3    | 授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている                      |     |  |
|                  | 4    | 授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある                        |     |  |
|                  | 5    | 授業内容間の重複や整合性、発展性等が明確になっている                          |     |  |
|                  | 6    | 授業形態(講義、演習、実験、実習)は、授業内容に応じて選択している                   |     |  |
|                  | 7    | 授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践している               |     |  |
|                  | 8    | 授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している     |     |  |
|                  | 9    | 学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている               |     |  |
|                  | 10   | 評価計画を立案し、実施している                                     |     |  |
|                  | 11   | 評価結果に基づいて、実際に授業を改善している                              |     |  |
|                  | 12   | 学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている              |     |  |
|                  | 13   | 教育目標の達成状況を多面的に把握している                                |     |  |
|                  | 14   | 学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している                           |     |  |
|                  | 15   | 単位認定の評価には公平性が保たれている                                 |     |  |
|                  | 16   | シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性がある                     |     |  |
|                  | 17   | シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機付けと支援になっている                |     |  |
| V<br>経営・管理過程     | 1    | 養成所の管理者は教育理念・教育目的についての考え方を明示している                    | 2.2 | <p>学校長は養成所の管理・運営に関する考え方を第1回運営会議に於いて明示し、教職員はそれを理解し教育活動を実施している。看護科では年度の組織目標を策定し、各学年毎に年間計画立案し実施している。また、教員は学生からの授業・実習評価を実施し、評価結果をもとに授業など改善に役立っている。学年の運営については、各学年毎に担任、副担任を配置し指導体制が整うようにしている。教員は授業だけでなく、学生の生活支援や学習支援に多大な時間を割かなければならない現状がある。その結果学生達の休学・退学減、及び目標達成につながっている。</p> <p>教員の自己点検・自己評価の結果から養成所の教育理念や目標が学校運営に反映され、看護科全体が一貫した活動が実施されている。その結果、学生の学習の質を維持できている。今後は、カリキュラム改正に向けて既存の教育内容の見直しや教育課程の検討を行う。</p> <p>学生の生活への支援体制は、奨学金など経済的支援の相談に応じている。健康管理については、全学年年1回健康診断を実施し、問題のある学生については、情報を得て随時健康状態を確認している。また、学生が関係する事故、損害に関しては傷害保険に加入し安全対策を講じている。</p> |
|                  | 2    | 養成所の管理者は教育課程経営についての考え方を明示している                       |     |  |
|                  | 3    | 養成所の管理者は教育評価についての考え方を明示している                         |     |  |
|                  | 4    | 養成所の管理者は養成所の管理運営等についての考え方を明示している                    |     |  |
|                  | 5    | 明示した管理者の考え方と、設置者の意思とは一貫性がある                         |     |  |
|                  | 6    | 教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解している                          |     |  |
|                  | 7    | 養成所の組織体制は、教育理念・目的を達成するための権限や役割機能が明確になっている           |     |  |
|                  | 8    | 意思決定システムが明確になっている                                   |     |  |
|                  | 9    | 意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられている                  |     |  |
|                  | 10   | 意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられている                      |     |  |
|                  | 11   | 組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念・教育目的達成との整合性がある               |     |  |
|                  | 12   | 教職員の資質の向上についての考え方と対策には教育理念・教育目的達成との整合性がある           |     |  |
|                  | 13   | 財政基盤を確保することについての考え方が明確である                           |     |  |
|                  | 14   | 財政基盤を確保することについての考え方は、学習・教育の質の維持・向上につながっている          |     |  |
|                  | 15   | 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している               |     |  |
|                  | 16   | 教職員のそれぞれの観点から財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようになっている       |     |  |
|                  | 17   | 学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している                       |     |  |
|                  | 18   | 管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施している                         |     |  |
|                  | 19   | 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している                         |     |  |
|                  | 20   | 医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している                 |     |  |
|                  | 21   | 養成所が設置されている地域環境との関連から学生および教職員にとっての福利厚生施設の整備を検討している  |     |  |
|                  | 22   | 学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設整備を整備している         |     |  |
|                  | 23   | 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えている                       |     |  |
|                  | 24   | 学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている                         |     |  |
|                  | 25   | 支援体制は、実際に学生に活用され学修の継続を助けている                         |     |  |
|                  | 26   | 教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行っている                     |     |  |
|                  | 27   | 関係者(保護者等)への情報提供は関係者から協力・支援を得ることにつながっている             |     |  |
|                  | 28   | 看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行なっている          |     |  |
|                  | 29   | 広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっている                          |     |  |
|                  | 30   | 養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案している          |     |  |
|                  | 31   | その実施・評価は将来構想との整合性をもっている                             |     |  |
|                  | 32   | 自己点検・自己評価の意味と目的を理解している                              |     |  |
|                  | 33   | 実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確にもっている                    |     |  |
|                  | 34   | 自己点検・自己評価体制を整え、運用している                               |     |  |
|                  | 35   | 自己点検・自己評価は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能している     |     |  |
|                  | 36   | 自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるように機能している |     |  |



| 内容                | 評価項目 | 評価尺度3:よく当てはまる 2:大体当てはまる 1:当てはまらない                 | 評価員 | 分析・対策   |
|-------------------|------|---|-----|---|
| VI<br>入学          | 1    | 教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べている             | 1.8 | <p>学生の確保については、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問:11校 ・募集要項郵送:37校</li> <li>・オープンキャンパス4回実施(参加者64名、その中で入学者は33名52%)</li> <li>・本校の准看護科2年生に看護科3年生から入学ガイダンスを実施した。入学試験については <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦入試志願者11名(本校11名、他校無し)、</li> <li>・一般入試1次・2次2回実施、志願者43名</li> <li>・入学生46名(内訳:本校33名72%、他校13名28%)</li> </ul> </li> </ul> <p>入学生の確保は充足しているが、入学志願者の過去5年の推移では、3年前から志願者10名程度減少傾向で推移している。志願者が平成30年度49名、令和元年度51名、倍率も1.2倍となり入学試験での選抜は厳しい。そのため、入学生の中には学習の自立不足や学校と仕事の両立に適応できず意欲が低下し、欠席が継続するなど支援・指導を要する学生が多くなっている。</p> <p>在籍学生数は1年生47名(入学者46、留年1)、2年生41名(休学1:出産、留年1、入学時42名)、3年生38名(退学2:学力不信、進路変更、入学時40名)、総計で126名で定員と在籍学生の比率は適正範囲である。今後の学生確保は准看護科の学生数が減少していることから困難な状況であると予測される。令和元年度の推薦入学試験の規定を一部変更した(他校からの推薦を許可された)ことで他校から4名志願して入学した。令和2年度の推薦は本校のみであったが受験生の定員を充足できた。今後も入学者選抜方法の妥当性の検討や在校生の分析を行っていく。オープンキャンパスの時期や回数、学校訪問等具体的内容について検討する。</p> |
|                   | 2    | 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証している |     |   |
| VII<br>卒業・就業・進学   | 1    | 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている                    | 2.0 | <p>卒業生の卒業前アンケートから分析した結果、今年度の卒業生学校満足度は53%と昨年(45%)よりやや高かった。卒業時の到達状況等を考慮した分析結果を今後に活用する。卒業に至るまでの学生数の変動は、入学時40名、退学1名、前年度の留年者4名あり卒業時は43名であった。卒業生の就業状況は4月現在で100%</p> <p>就業地は福岡23名(大牟田・みやま市13名)、熊本15名(荒尾・玉名4名)、東京2名、神奈川1名、埼玉1名、大阪1名であった。病院に42名とグループホームに1名が就業している。</p> <p>進学は助産学校に2名(在校生、既卒生)が受験を試みたが不合格であった。少子化により助産学校が減少し、入試はより専門性が高く学力が問われるため合格するのは難しい。進学希望は入学時に調査し支援方法を考える。</p> <p>卒業生の就職後の評価は就職先との情報交換で把握し、卒業生にはホームカミングデイで状況を聞いている。</p>   |
|                   | 2    | 卒業時の到達状況を分析している                                   |     |   |
|                   | 3    | 卒業生の就業・進学状況を分析している                                |     |   |
|                   | 4    | 卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある      |     |   |
|                   | 5    | 卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしている                        |     |   |
|                   | 6    | 卒業生の就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている                  |     |   |
|                   | 7    | 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している                           |     |   |
|                   | 8    | 卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している        |     |   |
| VIII<br>地域社会／国際交流 | 1    | 社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している                          | 1.9 | <p>学生と教員は地域社会のニーズを把握する目的と看護教育活動の一貫として、年1回行政の地域健康促進活動「みんなの健康展」や、夏祭りの総踊りに参加し地域の特徴を把握している。海外からの看護師留学生を受け入れ、国家試験受験対策の模擬試験やグループ学習を一緒に学んでいる。今後、国際的視野を広げるため、非常勤講師に国際看護活動経験者を迎え教育内容の充実を図っていく。</p>   |
|                   | 2    | 看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っている                      |     |   |
|                   | 3    | 養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている                |     |   |
|                   | 4    | 養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っている                         |     |   |
|                   | 5    | 養成所が設置されている地域の特徴を把握している                           |     |   |
|                   | 6    | 地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている                    |     |   |
|                   | 7    | 国際的視野を広げるための授業科目を設定している                           |     |   |
|                   | 8    | 国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている                      |     |   |
|                   | 9    | 海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている                        |     |   |
|                   | 10   | 留学や海外に置いて看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えている           |     |   |
| IX<br>研究          | 1    | 教員の研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)している                       | 1.5 | <p>研究活動状況は、教員1名:コ・メディカル形態機能学会8月発表。教員2名で次年度の在宅学会発表に向けて学生の救急車同乗実習の効果について倫理委員会で承諾され、アンケート分析実施したが研究時間の確保ができず次年度へ継続研究予定。</p> <p>学会・研修の参加は11回、全員の参加と報告会での発表は終了している。教員の学会入会状況は、個人的に専門領域の学会に入会している。しかし、看護師養成を担い、教育活動を展開する中で、研究活動の時間を費やすことが困難である。</p> <p>看護教育の充実には、教育内容の精選と教育方法の改善が不可欠であり、教員の自己研鑽については、研究活動を保障する体制を整えて、研究に取り組みやすいシステムの改善を行っていく。今後、教員は教育の事象、看護の事象について問題や課題を見出す能力を持つ必要がある。また専門性の探究や新しい情報を取り込むには臨床研修を実施する必要がある。</p>   |
|                   | 2    | 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている                           |     |   |
|                   | 3    | 研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある             |     |   |

令和元年度 自己評価・自己点検結果

評価基準: よく当てはまる…3 大体当てはまる…2 当てはまらない…1

|      |            |     |
|------|------------|-----|
| I    | 教育理念・教育目的  | 2.1 |
| II   | 教育目標       | 2.1 |
| III  | 教育課程経営     | 2.2 |
| IV   | 教授・学習・評価過程 | 2.3 |
| V    | 経営・管理過程    | 2.2 |
| VI   | 入学         | 1.8 |
| VII  | 卒業・就業・進学   | 2.0 |
| VIII | 地域社会／国際交流  | 1.9 |
| IX   | 研究         | 1.5 |

【令和元年度 自己評価・自己点検】

